

平成25年度 事業実施報告書

一般社団法人北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	南砺利賀そば祭り	事業経緯	継 続	実施体制	協 賛	担当所属	富山支所
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域活性化・振興支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

本事業は、観光資源の乏しかった旧利賀村が、そばの原産地であるネパール王国ツクチェ村との交流を通じて、「そば」を観光資源としたむらおこしと都市農村交流を図るために開催している。

旧村内各集落で行われていた「ごんべ」と呼ばれるそば会一稼ぎから帰ってきた人や遠来の客をもてなすために、そばを打ち、山菜を並べる心づくしの宴一がその発端である。

2. 事業実施体制

主 催：南砺利賀そば祭り実行委員会

共 催：北日本新聞社、南砺市観光協会、利賀村建設業協会

協 賛：(一社)北陸地域づくり協会

後 援：富山県、富山県観光連盟、南砺市、南砺市商工会、富山新聞社、北日本放送(株)、富山テレビ放送(株)、(株)チューリップテレビ、となみ衛星通信テレビ(株)、富山エフエム放送(株)

3. 事業実施概要

日 時：平成26年2月7日(金)～2月9日(日)

会 場：利賀国際キャンプ場周辺(南砺市利賀村上百瀬)

実施概要：

- ・伝統行事「丑引き」等、利賀地域・南砺市の民謡・伝統芸能披露
- ・「利賀そば」「イワナの塩焼き」等、利賀・南砺の食文化の提供
- ・雪像広場(ライトアップ)
- ・花火 など

参加者：12,000人

(大雪による通行止め発生等で前年度比6千人減)

参加費：高校生以上300円(会場設営協力金)

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

過疎化に悩む中山間地において、地域の慣習を生かしたむらおこしの取り組みを始めて、今年で10回目となる。大雪のため昨年度より参加人数が減少したものの、南砺市における冬の一大イベントとして市民に親しまれるとともに、多くの観光客やボランティアを集め、雪国の豊かな伝統文化や自然風土などの情報を発信する、地域の活性化を生み出す大きな核となっている。

また、利賀地域特有の「そば」や「丑曳き」、多雪を利用した「雪像」などが資源となって、多くの旧村民にむらおこし・地域愛護の精神が浸透する一端を担っており、観光客とのふれあいを通じて、地域社会の健全な発展をつくり出すきっかけとなっている。

